

## 普及

### 『三位一体 + 普及』

サッカー専門部    さいたま市立浦和高等学校    池田 一義

#### ◇はじめに

日本のユース育成の中心的役割を果たしているのが「トレセン制度：ナショナルトレーニングセンター制度」である。「日本サッカーの強化・発展のため、将来日本代表選手となる優秀な素材を発掘し、良い環境、良い指導者を与えること」を目的に始まったこの制度は、男子ではすでに25年を経て（女子は2005年度より本格的整備が開始）、様々な変革を行いながら、組織的にも活動内容においても充実したものとなり、トレセンを経験した選手から各年代の日本代表選手の多くが選出されるようになった。

#### ◇JFA（日本サッカー協会）、SFA（埼玉県サッカー協会）の取り組み

JFAは“世界”と対等に闘うために「三位一体の強化策」を掲げた。これは①代表強化②ユース（若年層）育成③指導者養成という3つの部門が同じ知識、情報を持ち、より密接な関係を保ちながら、選手の強化育成と日本サッカーのレベルアップを図るというシステムである。

2002FIFAワールドカップ以降、従来この構想の中に欠けていた概念である普及の重要性に着目し、「三位一体+普及」と修正し、キッズプログラムなどの様々な活動を通して日本サッカーの強化・普及のために、一体となって同じ方向を向いて、短・中・長期的取り組みが不可欠であるという概念が浸透した。

SFAはJFAの理念を受け、2007年よりSFAビジョンの達成に向けて2つのテーマのもと、8つのミッションをスタートした。

☆SFAビジョン・・・「(公財)埼玉県サッカー協会は、活気と秩序と潤いのある社会づくり・自立できる人間づくりに貢献し、地域コミュニティの再生を目指しています。

☆2つのテーマ・・・Theme1    PHQ ミッションの推進徹底  
Theme2    スポーツ精神の啓発と自立できる人間づくり

☆8つのミッション・Mission1    学校を核にした地域活動、地域スポーツ活動の活性化  
Mission2    M・T・M メソッドの啓発  
Mission3    ボランティアの協力要請  
Mission4    医学・科学サポート体制の確立  
Mission5    指導者養成事業の拡大  
Mission6    レフェリー育成事業の充実  
Mission7    サッカー施設の拡充（学校開放への働きかけ）  
Mission8    健全運営と経営基盤の確立

#### ◇高体連サッカー専門部の取り組み

##### ○指導者養成

- ・日本体育協会公認の「公認指導者ライセンス」取得を各校顧問の先生方に依頼し、取得していただいている。
- ・上級資格へのチャレンジ
- ・指導者講習会の実施（H25、1～3月実施を予定）。

##### ○トレーニングセンター（U-16対象）

- ・県トレセン・・・国体候補となり、月1回の実施と関東トレセンリーグへの参加。
- ・支部トレセン・・・東西南北の4支部でおよそ月1回実施。4支部対抗戦で県トレセンへ引き上げる。
- ・GKトレセン・・・東南・西北の2か所で実施。U-15からの参加もあり。
- ・U-15、U-14、U-13へスタッフとしての参加  
（・ストライカーキャンプの実施）

○ユース審判の育成

- ・年6回の4級審判員新規取得講習会の実施（年1300人以上の生徒が4級審判員を取得）
- ・ユース審判員研修会（高校選手権県大会準決勝の観戦研修、講義、ビデオ研修）
- ・上級資格取得希望者の育成（審判部員による実技指導）
- ・3級昇進への推薦（力のある審判員を3級新規取得講習会受験者として推薦）
- ・SFA 審判委員会との連携（SFA 主催のレフリースレセンへの参加から2級取得を目指す）
- ・高体連主催の試合への割り当て（卒業後、高体連主催の試合で経験を積んでもらう）

○リーグ戦の導入（高体連サッカー専門部に所属する生徒に3年間サッカーを楽しませる）

- ・高円宮杯埼玉県 U-18 サッカーリーグを開催。  
県リーグ（S1：10チーム、S2：16チーム）、各支部リーグで構成
- ・埼玉県 U-16 サッカーリーグを継続実施。

◇今後の課題

主にリーグ戦をめぐる JFA の動向の変化に戸惑いを感じつつも、専門部所属の多くの先生方にご協力をいただき、毎年、スケジュール、大会要項の見直しに着手している。埼玉県としてサッカーの普及・選手育成・強化に主体的な取り組みが出来るよう、SFA のサポートも受けながら進めていきたい。ただし、学校教育のメリットを最大限に生かしつつということが大前提になることは間違いない。

◇まとめ

2002FIFA ワールドカップ以来、「三位一体+普及」の考えのもと様々な指導を受けてきた生徒たちが現在の高校生である。ベクトルを同じくした指導者たちにより“PLAYERS FIRST!”というコンセプトに則り、普及・育成・強化に取り組む必要がある。代表の強化は選手を集めた短期の強化のみでなく、日々の所属チームでのトレーニングによってなされるものなので、いかに日々生徒と接する私たち1人ひとりの指導者の役割が大きいかは言うまでもない。

サッカーを通じて正しい人間づくりがあってはじめて安定した基盤での普及がなされるものである。サッカーを愛する多くのサッカーファミリーの存在があってこそ、その国のサッカーは厚くなり、総合力がついてくる。今後も多くのサッカーファミリーの醸成に寄与していきたい。